

（ 2025年度 ）

横浜市立大学大学院

生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程

第3期募集 学生募集要項

### 生命ナノシステム科学研究科の教育理念・目標について

生命ナノシステム科学研究科は、「生命のもつ複雑な機能・組織を物質要素の組み合わせ(システム化)により発現すると考える、ボトムアップの立場から生命システムを解明する」という共通理念のもと、研究科として「生命・物質機能を中心とした自然現象を分子・原子を基盤としたシステムとして解明する」ことを目標とします。

#### ●物質システム科学専攻

電子・原子・分子レベルのナノスケールシステムにおける物質科学を展開し、生命を構成する複雑な高分子物質の構築原理の解明を目指す。

#### ●生命環境システム科学専攻

生物が外環境に適応して生命活動を営むシステムや、生命の内環境の恒常性を維持するシステム、また生命が自らの発生プログラムに基づいて生命体を形成する発生システムの分子基盤を解明する。

特に、物質システム科学が得意とする計測・計算・解析手法を生命環境システム科学に応用し、新たな学問領域の創成を目指します。

### 求める学生像（アドミッションポリシー）

#### ●物質システム科学専攻

実験科学と計算科学に基づき、電子・原子・分子レベルの視点から生命系を含めたナノシステムの解明をするとともに、環境・エネルギー問題を科学的に捉える教育を行います。本専攻では、基礎的な英語能力を持ち、能動的かつ積極的に学問や研究に取り組む学生を求めており、国際的に活躍できる自立型人材を養成します。そのために、物質科学を中心とした基礎的な学力を持ち、実験科学と計算科学の両方を駆使し、ナノ科学やナノテクノロジー研究に強い意欲を持つ学生を求めます。

#### ●生命環境システム科学専攻

生命の基本設計図であるゲノムの科学を基盤とし、多様な環境に生きる動物・植物・微生物の生体分子の構造と機能の解明に向けた教育を行います。本専攻では、基礎科学を社会に還元する姿勢を大切にした教育を行い、生命環境システム科学の深い専門知識を身につけるばかりでなく、専門領域を横断的に研究できる人材を養成します。生命科学を中心とした基礎的な学力を持ち、広く生命現象に興味を持ち、それを科学のことで理解するとともに食糧・健康・環境分野への応用展開に強い意欲を持って取り組む学生を求めます。

## 1 募集人員

物質システム科学専攻	若干名
生命環境システム科学専攻	若干名

## 2 出願資格

### (1) 一般選抜

日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者で、次の項目のいずれかに該当する者または 2025 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- ア 大学を卒業した者
- イ 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ウ 指定された専修学校の専門課程を修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者  
(昭和 28 年文部省告示第 5 号参照：旧制学校卒業者、省庁大学校卒業者等)
- オ 外国において、学校教育（日本において、外国の大学が行う通信教育を履修する場合も含む）における 16 年の課程を修了した者
- カ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者
- キ 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ク 本研究科において個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者

[注] 上記「ク」によって出願する者は事前審査を行いますので、3 頁の「5 事前審査」を参照してください。

### (2) 外国人特別選抜

外国人（在留資格が永住の者を除く。また、日本国籍との二重国籍者は含まない）で、上記「一般選抜」出願資格項目のア～クのいずれかに該当する者

[注] 事前審査対象項目については、「一般選抜」と同様です。

### (3) 社会人特別選抜 A

次の項目のすべてに該当する者

- ア 「一般選抜」出願資格項目のア～クのいずれかに該当する者で、入学時まで同一の企業、教育研究機関等に 1 年以上正規職員として勤務し、所属長の推薦を受けた者
- イ 「一般選抜」出願資格項目のア～クのいずれかに該当する者で、入学後も引き続き同一の企業、教育研究機関等に正規職員としての身分を有する者

### (4) 社会人特別選抜 B

次の項目のすべてに該当する者

- ア 「一般選抜」出願資格項目のア～クのいずれかに該当する者で、入学時において企業、教育研究機関等に 2 年以上勤務の経験を有する者
- イ 「一般選抜」出願資格項目のア～クのいずれかに該当する者で、社会経験を基礎に、当該大学院で研究を進める意欲のある者

**<出願資格 (3) (4) 共通>** [注 1] 外国籍の方については、在留資格が永住に限ります。

[注 2] 事前審査対象項目については、「一般選抜」と同様です。

### 3 出願手続

#### (1) 出願期間

2025年1月6日(月)～1月8日(水) 消印有効

#### (2) 提出方法

出願書類を一括して封筒に入れ、下記の方法で提出してください。

##### ア 郵送での提出

簡易書留(速達)郵便で、6頁に記載の宛先に郵送してください。

##### イ 来学による提出

出願期間内の9時から17時の間に、アドミッションズセンターの窓口で直接提出してください。

#### (3) 研究テーマ等に関する事前相談

志望教員または専攻長に研究テーマなどについて、出願前に必ず相談してください。

特に第1志望の教員と相談していない場合、出願を認めないことがあります。

### 4 出願書類

[一般選抜・外国人特別選抜]

出 願 書 類	注 意 事 項
入学願書一式	本学所定のもの。(受験票・写真票等も含む) 志望教員へ出願の相談をしたうえで、確認印欄に押印を受けること。 <b>第1志望教員の確認印が無い場合、出願を認めないことがある。</b> ※志望教員を直接訪問できない場合は、eメール等で相談を行い、出願が許可された旨の文面をプリントアウトして同封すること。
卒業(見込)証明書	出身大学または在籍大学作成のもの。
成績証明書	出身大学または在籍大学が作成の上、 <b>厳封したもの。</b>
志望理由書	本学所定のもの。本学および指導教員を志望する理由、ならびに今後の研究に対する抱負を記入すること。
写真 <u>2枚</u> 縦4cm×横3cm	写真裏面に志望研究科・氏名を油性ペンで記入し、入学願書および写真票にしっかりと貼付する。 (願書受付日前3か月以内に撮影したもの)
入学検定料の振替 払込受付証明書	入学検定料30,000円を所定の払込票によりゆうちょ銀行(郵便局)窓口で納付し、領収印を受けた振替払込受付証明書(払込用紙の一番右)を出願書類の所定の箇所に貼付すること。なお、払込手数料は本人負担となります。
切手	410円分(出願書類に同封してください)
あて名ラベル	2枚1組(本学所定用紙に住所、氏名を明記すること)
その他 (該当者のみ)	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在、他大学の大学院に在籍中の者(修了見込者除く)は当該大学院の受験許可書</li><li>・現在日本に在住している外国人は、①在留カードのコピー(両面)、②パスポートのコピー(顔写真とビザのページ)</li><li>・現在海外に在住している外国人は、①パスポートのコピー(顔写真のページ)</li><li>・2025年4月1日以降の「留学」の在留資格がない外国人は、在留資格認定証明書交付申請書 ※法務省ホームページからダウンロードする</li></ul>

※各種証明書の氏名に変更がある場合は、戸籍抄本も提出してください。

〔社会人特別選抜A・社会人特別選抜B〕

出願書類	注 意 事 項
入学願書一式	用紙は本学所定のもの。(受験票・写真票等も含む)
卒業証明書	出身大学作成のもの。
成績証明書	出身大学または在籍大学が作成の上、厳封したもの。
推薦書(社会人Aのみ)	現在の勤務先の所属長による。(本学所定の用紙)
写真 2枚 縦4cm×横3cm	写真裏面に志望研究科・氏名を油性ペンで記入し、入学願書および写真票にしっかりと貼付する。 (願書受付日前3か月以内に撮影したもの)
入学検定料の振替払込 受付証明書	入学検定料30,000円を所定の払込票によりゆうちょ銀行(郵便局)窓口で納付し、領収印を受けた振替払込受付証明書(払込用紙の一番右)を出願書類の所定の箇所に貼付すること。なお、払込手数料は本人負担となります。
切手	410円分(出願書類に同封してください)
志望理由書	本学所定のもの。本学および指導教員を志望する理由、ならびに今後の研究に対する抱負を記入すること。
業績報告書	卒業論文および研究論文を有するものは、題名、発表誌名などを書くこと。 (様式は任意)
業務報告書	過去から現在に至る研究、技術職の内容を書くこと。(様式は任意)
あて名ラベル	2枚1組(本学所定用紙に住所、氏名を明記してください)

※各種証明書の氏名に変更がある場合は、戸籍抄本も提出してください。

## 5 事前審査

1頁「**2 出願資格**」において事前審査が必要とされる者は、出願資格の認定のため、次のとおり事前審査を行いますので、必要書類を取りそろえ、下記期限までにアドミッションズセンターへ提出してください。

**2024年12月13日(金)までに必着**

《窓口受付》9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日を除く)

《郵送受付》封筒に「生命ナノシステム科学研究科博士前期課程事前審査書類在中」と朱書きの上、  
6頁に記載の宛先に簡易書留郵便で送付してください。

### (1) 必要書類

- ア 入学資格審査申請書<<本学所定の様式>>
  - イ 検定料(¥30,000)の振替払込受付証明書(ゆうちょ銀行の窓口で納付したものを申請書に貼付)
  - ウ 指導教員の学力を証明する推薦書<<様式任意>>または、学力を示す論文
  - エ 最終学歴の卒業(見込)証明書および成績証明書
  - オ 研究計画書(日本語4,000字程度)<<様式任意>>
  - カ 審査結果通知用郵便料(簡易書留による送付のため460円分の郵便切手)
- [注]ア～カ以外に、本研究科が必要と認めたものについて、提出を求める場合があります。

### (2) 審査結果

事前審査の結果は、下記期日までに本人宛に発送します。

**2024年12月26日(木)**

### (3) 出願手続

事前審査により出願資格の認定を受けた者は、本募集要項に基づき出願手続を行ってください。資格が認められた場合には、その旨の通知と検定料が納付済みの証明書をお送りしますので、本出願の際にはその証明書を用いてください。あらためて検定料を納付する必要はありません。資格が認められなかった場合には、納付済みの検定料より5千円を控除して、2万5千円を返金いたします。

## 6 入学検定料

30,000円

納入された入学検定料は返還いたしません。

## 7 選抜方法

第1次選抜の合格者について、第2次選抜を実施します。

第1次選抜：書類審査	出身大学の成績、志望理由書などの書類審査
第2次選抜：面接	志望動機、専門分野に対する適性・意欲、研究能力および発表能力などを総合的に評価する。なお、外国語の能力についても併せて試験する。

## 8 試験日時・試験場

試験日	科目名	時間	試験場
第2次選抜：2月8日（土）	面接	別途通知します。	金沢八景キャンパス

試験当日の集合時刻および終了時刻は、第1次選抜合格者に送付する受験案内で必ず確認してください。

## 9 合格発表

### (1) 発表日時

第1次選抜：2025年2月 3日（月） 11時

第2次選抜：2025年2月28日（金） 11時

### (2) 発表方法

ア 合格者の受験番号を本学Webサイト (<https://www.yokohama-cu.ac.jp>) で掲載します。

イ 第1次選抜受験者には、選考結果を通知します。

第2次選抜合格者には、合格通知書と入学手続書類を送付します。

[注] 以下の期日を過ぎても到着しない場合は、必ずアドミッションズセンターまで連絡してください。

第1次選抜：2025年2月5日（水）

第2次選抜：2025年3月5日（水）

ウ 合格について、電話等でのお問い合わせには応じません。

エ 出願書類に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。

## 10 入学手続

送付した入学手続書類を確認の上、手続きをしてください。

※手続期間に入学手続を完了しない場合、入学が許可されませんので十分に注意してください。

### (1) 入学手続期間

2025年3月3日（月）～3月7日（金）消印有効

（入学金等納入金の入金可能期間：2月28日（金）～3月7日（金））

### (2) 入学手続方法

入学手続に要する書類等を郵送（簡易書留）により提出してください。詳細は、合格者に送付する入学手続書類で確認してください。

### (3) 入学金

市内出身者および横浜市立大学卒業生……………141,000円

市外出身者……………282,000円

[注1] 入学金は2024年度の金額です。金額については改定する場合があります。入学金が改定された場合は、改定後の金額が適用されます。

[注2] 納入された入学金は返還いたしません。

[注3] 手続期間内に入学手続を完了しないと入学が許可されません。十分に注意してください。

[注4] 入学金の「市内出身者」とは、入学の日の1年以上前（2024年4月1日以前）から引き続き横浜市内に本人または扶養義務者が住所を有する者をいいます。

## 11 その他の納入金

本学の学術・研究・学生生活の充実や福利厚生の上を目的とした活動を行う各団体の会費等の納入金があります（入学手続き時に納入していただきます）。

- (1) 学術研究会費 2,000円
- (2) 後援会費 30,000円

## 12 授業料

### 535,800円（年額）

[注] 授業料は2024年度の金額です。金額については改定する場合があります。本学入学後に授業料が改定された場合は、改定後の授業料が適用されます。

## 13 注意事項

- (1) 試験当日には必ず受験票を携帯してください。
- (2) 試験の遅刻限度時刻は、第1次選抜合格者に送付する受験案内に記載された集合時刻です。それ以降については相応の理由がない限りは受験できません。
- (3) 配属志望先の選定にあたっては、インターネット上の教員プロフィール等を参考にしてください。なお、事前に志望教員あるいは専攻長に研究テーマなどについて必ず相談してください。
- (4) 出願手続き後の提出書類の内容変更は認められません。
- (5) 納入金（入学検定料を含む）および提出書類は、一切返還いたしません。
- (6) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに出願者に通知します。
- (7) 試験当日に、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹・新型コロナウイルス感染症等）に罹患し、治癒していない受験者は、他の受験者への感染のおそれがあるため、原則受験することができません。なお、追試験等の特別措置は行いませんので、感染予防・健康管理に十分ご注意ください。
- (8) 試験の成績によっては、合格者数が募集定員に満たない場合もあります。
- (9) 2025年3月31日までに卒業見込みの方は、在籍大学を卒業後、卒業証明書および成績証明書を2025年3月25日（火）までにアドミッションズセンターへ提出してください（横浜市立大学卒業生は不要）。在籍の大学を卒業できなかった場合は入学資格を失います。

## 14 入学辞退

入学手続きの完了後、やむを得ない事情で入学を辞退する場合には、「入学辞退届」の提出が必要です。この場合、2025年3月31日（月）午後5時までに、アドミッションズセンターへ連絡してください（土・日・祝日を除く）。入学手続きを完了された方には、入学金を除く既納入金を返還します。

2025年4月1日（火）をもって学籍が発生します。3月31日（月）午後5時までに連絡がない場合は、授業料等の納入金を納めなくてはなりませんので、注意してください。

## 15 問い合わせ先

物質システム科学専攻長	立川 仁典	045-787-2188	（物質システム科学研究分野）
生命環境システム科学専攻長	足立 典隆	045-787-2228	（生命環境システム科学研究分野）
アドミッションズセンター		045-787-2054	（日程・試験場・検定料・入学金等）
教育推進課(教務担当)		045-787-2042	（シラバス・入学後の課程について）

## 16 郵送先

出願書類等は、以下の宛先に郵送してください。

〒236-0027

横浜市金沢区瀬戸 22-2 横浜市立大学 アドミッションズセンター

### 安全保障輸出管理について

横浜市立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「公立大学法人横浜市立大学 安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れについて厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に指導教員予定者と相談するなど、出願にあたって注意してください。なお、入学時に、入学者全員に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名していただきます。

### 個人情報の取扱いについて

横浜市立大学大学院では、個人情報に関する法令等を遵守し、個人情報の重要性を深く認識した上で、細心の注意を払って管理します。本学の入学試験に出願される方は、以下の内容に同意した上で出願してください。

- 本学への出願の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施及び合格発表）、②入学手続、③教務関係（学籍、修学指導等）、④学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免・奨学金申請等）、⑤授業料等の学費徴収、⑥入学試験統計・分析及びこれらに付随する事項を行うために適正な範囲内で使用し、以上の目的以外には使用しません。
- 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成、所属変更等及びこれらに付随する事項を行うために適正な範囲内で使用し、以上の目的以外には使用しません。
- 上記業務において、本学より一部の業務の委託を受けた業者が、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で、その全部又は一部を使用することがあります。

## 横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22 番 2 号  
公立大学法人横浜市立大学  
アドミッションズセンター  
<https://www.yokohama-cu.ac.jp>